

第1回 千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会 議事概要

- 日 時：令和7(2025)年6月23日(金) 18:00～20:20
- 会 場：千代田区役所 4階 404 会議室
- 出席状況：出席委員9人
- 千代田区：文化スポーツ担当部長、生涯学習・スポーツ課長、スポーツ振興係長、
スポーツ振興係担当者2名、委員会支援業務受託者2名
- 議 題：(1)計画の策定主旨、スケジュールについて
(2)現行計画の進捗状況について
(3)令和6年度調査について
(4)その他

(議事要旨)

- 1 開 会
- 2 委員自己紹介
- 3 委員長・副委員長選出
- 4 議 題

※ ●：委員からの質疑 ➤：担当者回答

(1) 計画の策定主旨、スケジュールについて

〈事務局から説明〉

意見なし

(2) 現行計画の進捗状況について

〈事務局から説明〉

●「スポーツセンター」の小中学生夏休み無料開放の入場者数が34人となっているが、同様の無料開放をしていたにもかかわらず、34人だったのか。

➤スポーツ振興係長) 夏休みの無料開放は、小中学生が夏休み期間中にスポーツセンターを利用される場合に無料開放を実施している事業である。令和元年度実績については、原因まで分析できていないが、実際、このような少ない数値だったという報告がスポーツセンターから来ている。

●「小学校の校庭開放」について、小学校開放が令和元年度実績は208日もあったにもかかわらず、令和3年度からずっと減少している状況について説明をお願いしたい。

➤生涯学習・スポーツ課長)「小学校の校庭開放」はPTAの主催事業になっており、日数につい

ては各PTAの判断となっている。担当部署ではないので多少推測も入るが、令和元年度はコロナ前ということで、各年この程度の日数だったのかと思う。令和3年度はコロナの影響と思うが、令和4年、5年と徐々に回復している。令和6年にコロナが5類に移行しているが、保護者の見張り当番の負担がかなり大きいとのことで、一度コロナで中止に近い状態になって負担が少なくなった状況から元に戻りつつあるが、負担に感じてあるところもあるのかと思う。

委員長)「スポーツセンター」の小中学生夏休み無料開放については、周知が足りていなかったなどの情報は入っていないのか。

➤スポーツ振興係長) そういう情報は特に入っていない。この事業自体は昔から行っており、定期的に利用される方はいたと思うが、令和元年度は利用者が少なかったのかと思う。

委員長) 令和3年からは、令和元年の業績を見て、改善しようということで策定されたのか。

➤スポーツ振興係長) 令和3年度の実績は、令和元年度の状況もあったので、スポーツセンターのほうで注力したという部分もあるかと思う。

委員長) 今回の策定にあたっては、令和6年度などの情報を基盤として改善を考えていくということか。

➤スポーツ振興係長) そうである。

●「新スポーツセンターの整備」ということで、いろいろな情報が入っているが、この策定委員会の中で、もっと具体的に発表できるものはないのか。現地建て替えが決まっているとのことで構想等も聞いているが、建て替え時の空白時間の代替地について、多少は教えていただけることがあるのか。

➤生涯学習・スポーツ課長) この件に関しては、別の部隊が検討しているところだが、現地建て替えとなると代替地をどうするかという部分がある。体育館としてもスポーツセンターが1つ、各学校施設、屋外施設としては外濠公園総合グラウンド、花小金井、夢の島という形になり、主競技場の代わりに、区内にどこかとなると、現時点ではアイデアがない。新スポーツセンターの基本構想を進めていく中で、少なくとも大会等は開催できるような状況が必要と思うので、各スポーツ団体のご意見を頂きながら検討を進めていく形になるかと考えている。

●千代田区にはスポーツセンターが1カ所しかなく、区民に喜んでいただける施設を造り、今現在、行われている競技大会の開催を継続していかなければ、千代田区から離れていくクラブもある。いつでも戻ってきていただけるよう取り組んでいきたいので、よろしくお願いします。

➤生涯学習・スポーツ課長) あらゆる選択肢が考えられると思うので、検討していきたいと考えている。

●スポーツセンターの来訪者の利用が減少しているという話があったが、実際、私の会社でも利用している人が1人もいない状況かと思う。何か民間に対して働きかけというのはされている状況なのか。

➤生涯学習・スポーツ課長) スポーツセンターは位置的に大手町などに勤めている方が来やすい立地にある。90万人以上いる在勤者に利用していただくことで区民の負担が減るのではないかと、指定管理者も大手町の方に広告を配ったり、ネット広告を打ったりしている。特に会員制の「すぽすたちよだクラブ」の会員数を増やしたいということで、指定管理者もかなり積極的に打ち出しているところである。

●ボッチャは障がいの有無にかかわらず、みんなで取り組めるスポーツなので、ボッチャに取り組んでいただければ、非常にありがたい。

●スポーツセンターの統計 26万人という話があったが、スポーツセンターを借りる場合、高齢者以外と高齢者・障がい者で入場料が違ったりするのか。

➤生涯学習・スポーツ課長) 60歳以上の区民の方は無料で、あとは区民、区民外で料金が変わってくる。

●障がいがある方は60歳以上と同じく、例えば券売機で買う形になるのか。

➤生涯学習・スポーツ課長) そうである。

●障がい者の利用者数を聞くと、高齢者と一緒なので分からないと言われることが多い。もし、スポーツセンターがリニューアルされれば、バリアフリーにされると思うので、障がい者の利用状況が分かると、どういう機材を入れたらいいか、どういうアプローチをしていけばいいか、ヒントがあると思われ、統計の取り方を少し工夫すれば見方が変わってくるのかと思う。

●スポーツセンターを利用している。在勤の方々にたくさん利用していただくことで財政的に潤うところはあると思うが、仕事をしている方は午後5時以降や昼休みに来られ、その時間帯は非常に込んでいる状況である。千代田区に住んで仕事をされている方は、込み合う時間に利用されて使いづらいのではないかと思います。在勤者に支えてもらうという考えもいいと思うが、利用者としてはもう少し何かないかと感じる。

➤生涯学習・スポーツ課長) 区民(在住の方)のための施設ということが第一にあるかと思う。区内在住、在勤、在学、どなたでも使えるが、もう少し区民の方の利用にスポットを当てたような方法もあると思うので、今後、検討していきたい。

●子どもたちが自由に遊べる広場について、「自由な発想で、のびのびと遊べる」と書いてあるが、結局、大学生ボランティアの指導の下、遊んでよいという形になっている。

➤生涯学習・スポーツ課長)どうしても公園の制約がある。大学生は指導というより見守りで、基本的には、ある一定のエリアについて自由に遊んでいいが、他の利用者に迷惑をかけそうになった場合は、大学生がさりげなく出てきて、接触しないよう配慮していただいている。ボールなども用意していて自由に遊べるが、プレーパークのように全て自分たちで考えて遊べる環境には至っていない。

●体を動かすというベースが生涯学習・スポーツ課と子育て推進課で合っていればいいと思った。ずれがあって、片方ではできているがもう一方から見るとできていないと思われる形ではなく、統一した展開の中で子どもたちが体を動かすことを目標に策定していただくのがいいかと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)本検討会の庁内検討会が別にできる予定で、そちらに教育委員会からも出ていただく。また、子どもの遊び場事業の検討委員会には逆に私が出席している。子どもの遊び場もだが、体力向上に向けた取組みも教育委員会と視点をそろえる必要があるかと思うので、その辺を意識しながら取り組んでいきたい。

(3) 令和6年度調査について

〈事務局から説明〉

●今後、策定される基本計画で、例えばスポーツの実施頻度を今の形より高くしていくのか。または、この1年間にスポーツをほとんど行わなかった方を減らすのかなど、ゴールをどこに設定するかが非常に大事かと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)前計画は、とにかく少しでも体を動かして運動習慣を身につけてほしいというものだったと認識している。本計画も前計画を継承しつつも、例えば、東京都では「みる、ささえる、応援する」スポーツという新たな要素も入ってきている。運動する人を増やす、頻度を増やすという部分もあるが、さらにスポーツを通じてウエルビーングを実現するとか、そういう話になっていくのかと現時点では思っている。その辺も次回以降、国や都の動向や皆様のご意見を踏まえながら、どう目標を設定していくのか、皆様と一緒に考えていきたいと思っている。

●小学校、中学校、高等学校共通で、どういうことを楽しさとして持つか、体育の運動における見方、考え方で、「する」「見る」「支える」「知る」の4つを大事にしながら学校教育を進めていこうと、今、実際に授業を実施している。今後、そういうことも視野に入れていただければ

と思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)そういう情報は学校現場に携わっている方でなければ、わからない部分もあるので、今後もさらに、そういうご意見を頂ければと思う。「知る」とは、子どもが自分の動きを知ったり、スポーツの楽しさを知ったりということか。

●運動の良さを知ったり、友だちの良さを知ったり、友だちと一緒に学ぶ良さを知ったり、「する」だけではなく、スポーツを「見る」ということ、「支える」は運営面もだが、友だちを支えるということもある。それを生涯スポーツにつなげていくといいかと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)子どものうちからそういうことをしていただいて、大人になってもそういう活動ができる、そういう計画になればと思う。

●「スポーツ施設の利用について」とあり、現場の我々にとって、利用方法を知らない人もいて、皆さんにどうPRしていくかが一番の課題である。年に数回、誰でも無料で参加できるイベントをして、学校を通して案内したり、広報紙でお知らせしているが、調査結果を見ると、関心がない方も少なくないようである。コロナで一度途切れてしまった習慣を、また身につけるのは大きなハードルがあり、途切れたものをどうつなぐかが課題になっている。自分のことに精一杯で余裕がある過ごし方を考えるまで至ってない方がおられるのかとも思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)関心がない層に対してということは、我々も常に悩んでいるところである。アンケート結果では、意外と皆さんは広報紙を見てイベントに参加しており、驚いている。富士見スポーツクラブのイベントなども知らない方が結構多く、広報や口コミ、SNSなどを活用して広めていくことが一番かと考えている。コロナで一度離れて運動習慣ができていないということは、その通りと思っており、一時期、スポーツセンター等の利用も相当下がり、なかなか回復していない現状がある。皆さんは時間があればスポーツしたり、体を動かしたりしたいと思っているはずだが、なかなか時間が取れないのは我々も如何ともしがたいところがある。スポーツをしていない人でもサッカーの試合を見たり、応援したり、日々、何らかのスポーツに関わっていると思うので、それをきっかけに、次は体を動かしてみよう、仲間づくりしようなど、そういう動きにつなげていけたらと思う。

委員長) アンケートのなかでも「健康・体力づくりのため」が81.4%で、そこにいかにつなげていくか、そのきっかけとして、知るとか応援するというのも大切な要素なのかと思う。例えば、大きなイベントを開催し、そこで宣伝する。例えば子育て世代であれば、子どもが行けば親も行くので、親の目に止まるようにするなど、SNSで取りにいかなくても得られる情報の発信方法なども次回の計画に盛り込んでいただけるといい。

●アンケートで「今後参加したいスポーツイベントは」という設問の中に、観戦等が入っていないのではないか。先ほど話があったように、スポーツは、「する」「見る」「支える」「知る」ということで、家庭内でもスポーツ観戦で盛り上がり、スポーツの力で健全な精神を養っていくことも大事と思う。Bリーグなども地域を挙げて応援するところもあり、千代田区でも東京ドームでの野球観戦等を中学生以上に枠を広げるなど、今後、そういうことも考えてほしい。世界陸上が9月から始まるので、小学生に見ていただくよう教育部署で協力して枠を取っていただければと思う。デフリンピックも見てください、皆さんで話題を共有することも大事かと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)子どもを対象としてプロスポーツを観戦したらどうかということについては、区内には有名な企業が多く、それぞれプロチームがあったりするので、そういうところとコラボレーションして、子どもたちに還元できるような活動を社会貢献の一環として企業に求める方法もあるのかと思う。世界陸上に関しては、今年、東京都では個人観戦がメインとのことである。ただ、千代田区の小学校等では、世界陸上に関して何らかに関与できるような取組みをするかもしれない。デフリンピックに関しては、千代田区がオリエンテーリングの競技会場ということで、観戦方法の詳細は決まっていないが、今後、オリエンテーリングに限らず、デフリンピックは観戦が無料と聞いているので、観戦の概要が明らかになれば、広報紙で周知したり、教育委員会と連携して子どもたちが体験できるような取組みに注力していきたい。

●都内の子どもは全て無料で1回入場して生の競技を観戦できるというのが、今回の世界陸上の東京都の取組みだが、千代田区では、全8校で6年生全員、バスを出して教員が引率していくことがほぼ決まっている。6年生全員を招待するのは千代田区だけで、世界陸上の協会からバトンのレプリカが8本届き、全ての学校に寄付された。

●1～5年生は証明書のようなものを持参すれば入場できるのか。

●サイトに入って希望を出せば、最後の日程から決めていき、希望した日程が優先される。

●この調査を受けて、1人で行うスポーツがとても人気だと感じた。長く続けようとか、地域コミュニティを形成させようとするれば、ある程度集団でできるスポーツに重点を置かなければ、なかなか活性化していかないのではないかと。関心を示して1人で動き始めた人たちが集まって仲間になって地域で動き出すという方向になるような仕掛けの場があればいいと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長)1人で行うスポーツが思いのほか多いと私も感じ、筋トレやランニングが多いのかと思った。手軽に始めるきっかけとしてはとてもいいと思うが、スポーツは仲間づくりも結構重要なのかと思う。コミュニティのベースになる部分もあると思うので、1人で始

めたものも最終的には仲間づくりに資するような流れができるといいと考えている。

●プールを利用したい人が多いと感じる。千代田区内には室内プールが多いが、365 日稼働しているところは少ない。アクアビクスのように跳ねながら運動したい人、泳ぐ練習をしたい人、競技を求める人ではプールの使い方が全く違う。今のところ安全に楽しくできる人をベースにして管理されており、競技スポーツとして水泳をしていると公共の施設では危険ということで笛を吹かれる。プールがたくさんあるので、目的別のプールを造って仕分けすれば利用の満足度が変わると思われ、余力があれば、そこまで落とし込んでいただければうれしい。

➤生涯学習・スポーツ課長) プールの目的別の利用については、現状、小学校のプールが多いことがあり、富士見小などは3カ月ほどしか運用していない状況で、一年間通して稼働しているプールが少ないのも事実と思う。今、アスリートとしての視点を頂いたので、今後の検討の参考にさせていただきたい。

●情報収集に広報紙が非常に役立っているというのは確かで、私も広報紙で見ているが、裏を返せば紙媒体しかない。スポーツ協会でホームページ上に、そこにアクセスすればいろいろな情報が入るといって各スポーツのサイトを設けてもらおうと情報収集がしやすくなる。今、ラジオ体操会連盟に所属しているが、高齢者が多く活動しており、情報を発信する大元を作るのはとても難しい。他のスポーツでも理事などはかなり年配の方もおられ、デジタルに精通している人がいなかったりするので、スポーツ協会で、ここに来れば発信できるというものを作っていただければいいのかと思う。

●しばらく待っていただきたいと思うが、それも委員会を立ち上げて準備している。

➤生涯学習・スポーツ課長) ホームページについては、体育協会がスポーツ協会の組織として変わる際に、ホームページの充実もお願いしたいということで、我々としても技術的な援助や補助金等でやりやすくさせていただければと思う。

●アンケートでは障がいがない方々に聞いていると思うので、素案を作るときの書き方として、障がいがない方には、障がい者スポーツを通じて障がい理解とか、障がいがある方も一緒にスポーツができるということを知っていただくためのイベント等をしていくということ。障がい当事者には、障がい者スポーツをしていただくのではなく、スポーツをしていただくという視点だと思っているので、そういう書き方にうまくアレンジしていただくといいのかと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長) パラスポーツのパラは並行、パラレルの意味で、特別なものではないと思っている。この計画の中でも障がい者スポーツは全部パラスポーツという言葉に統一して、

特別ではなく普通のスポーツの1つという形で、今後、用語も検討していきたい。

委員長) フロアバレーボールは健常者も一緒にできるスポーツなので、一緒にするという視点が必要かと思う。あとは、先ほどもあったように、一緒くたにしないというのも大事な視点かと思うので、参考にするためには、きちんとデータを取っていくことが大事かと思う。

委員長) アンケート結果で、多々重要な課題があったかと思うので、千代田区らしく、どういうふうに乗り越えていくのか、次回しっかりしたアイデアを出していただければと思う。

(4) その他

委員長) 「スポーツちよだ未来会議」というワークショップは、今回の策定にあたって、直接区民や生徒、団体等に聞けるチャンスで、これを充実させていくことが非常に大事なフェーズになるのかと思う。ただ、懸念として、対象者が小学生の場合、得たい情報が得られない可能性もある。どういう角度から質問したり、どういう切り口でイベントを開催すると、その人たちの真の意見が得られるのか、アドバイスを頂きたい。

●これも何をゴールにされているかで、考えていくべきかと思うので、求められている目的がどのようなものか教えてほしい。

➤生涯学習・スポーツ課長) 目的としては、最終的に計画にお子さんの意見を反映させたいが、具体的にどういう意見まで反映させたいか、現時点では未定である。

➤文化スポーツ担当部長) 千代田区全体でお子さんの意見をこれから聞いていこうと申し合わせをしており、小学生がどういったことを考えているか聞きたいと思っている。

●「スポーツについて感じていること」は、経験したことを伝えることができると思う。「千代田区でこんなスポーツをしてみたい」については、知識がないので、新しいアイデアが出るというより、親が家で子どもと見ているとか、やっていると、そういうことになるのかと思う。例えば、「スポーツはどのようなものがあるか知っているか」とか、「こういうスポーツもあるよ」とか、知る機会になることでも広がるのかと思う。子どもたちは自分が経験していることしか話せないで、広げる機会にすると、体験できる機会にしてもいいのかと思う。

委員長) 大変貴重なご意見と思う。どう聞いても自分の体験からしか物が言えず、4年生なら4年生までの体験になってしまい、オープンな質問にすると、こちらが欲しいものが得られない。いろいろ情報を入れて、それでどう思うかという形にするなど、工夫が必要かと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長) 今、頂いたご意見を参考にして、運用の仕方を考えたい。ファシリ

テーターが入ると思うので、ファシリテーターがどのようにお子さんに知識を提供しながら運営できるかになってくるかと思う。

委員長) 現在の4年生であれば結構、パソコンなど、いろいろなツールが使えると思うので、情報を入れることは可能かと思う。

➤生涯学習・スポーツ課長) 例えば、事前に調べてもらうなど、いろいろ考えたい。

●ファシリテーターは、どういう方が来られるのか。

➤委員会支援業務受託者) 福祉計画や総合計画、教育振興計画などでも、小・中・高校生対象のワークショップを実施しており、そういったワークショップにファシリテーターとして入らせていただいた社員を出席させて、子どもたちに知識を伝えながら進行していくよう考えている。

●どこかで、実施されているということか。

➤委員会支援業務受託者) 江東区や品川区の教育振興計画やこども計画で子どもたちの意見を聞くワークショップは実施している。スポーツに関してはチャレンジな取り組みになるが、今、いろいろご意見を頂いたことも踏まえ、経験も含めて、しっかりとファシリテーターとしてサポートできればと考えている。

●経験の中で、こういう切り口があれば斬新な意見が出るとか、そういう切り口を与えていただければと思う。このチラシはどこに出されているのか。

➤スポーツ振興係長) 千代田区の広報紙やホームページ、各学校、区立施設等に案内を送らせていただいた。

●募集中とのことで、手を挙げている方は何人かいるのか。

➤スポーツ振興係長) 6月20日号から周知を始めて4日目で、結果はまだ見ていない。

5 事務連絡

今後の予定について、事務局から説明

6 閉会

委員長) 第1回千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会を閉会する。長時間のご審議ありがとうございました。